「後向き観察研究」用　臨床研究計画書　雛形

第三版　2017/3/24

※注意※（次のページから適用し、提出時はこのページは削除してください）

<http://www.nnh.go.jp/crc/clinical_trial_services/clinical_research/>　　を参考に作成

* この雛形は、「観察研究」のうち「当院のみで実施する後向き観察研究（既存情報のみを用いて実施する研究）」を対象としています。
* 青字の文章は「記載事項の一例」ですので、研究計画書を作成する場合は青字の文章を削除してください。
* *赤字（斜体）*の文章は*記載する際の注意事項等*ですので、研究計画書を作成する場合は文章を削除してください。
* 黒字の文章は原則そのまま使用してください。
* 専門領域のみで通用する用語の使用は避けるか、注釈を付けるなどで分かりやすくしてください。
* 初出の略語は、略さない形も記載してください。英略語の場合は、可能な範囲で日本語の訳語も記載してください。
* この雛形に記載されている項目については、該当しない場合でも削除しないでください。該当しない場合は、「該当なし」と記載してください。

【参考】

「観察的疫学研究報告の質改善（STROBE）のための声明：解説と詳細」

<http://www.strobe-statement.org/fileadmin/Strobe/uploads/translations/STROBE-Exp-JAPANESE.pdf>

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針　ガイダンス」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/>

研究課題名

(例）

「○○○○における△△△△の検討:後視的コホート研究」

*＊ここに研究課題名を記載して下さい。*

研究責任者所属 ： ○○科

研究責任者名 ：○○○○

Ver.1.0 　2○○○年○月○日

目次　*＊右端に該当ページを記載してください。*

1. 研究の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

2.　　 研究の背景及び意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

3. 研究対象者及び適格性の基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

4. 研究の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

5. 統計的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

6. スケジュールあるいは研究期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

7. 遵守すべき倫理指針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

8. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益・・・・・・・・・・・・・・・・

9. 研究の変更、中止・中断、終了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

10. 研究対象者からインフォームド・コンセントを受ける手続き・・・・・・・・・・・・・・・

11. 個人情報等の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

12. 情報の保管及び廃棄の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

13. 院長への報告内容及び方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

14. 研究対象者の費用負担、謝礼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

15. 研究結果の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

16. 研究資金及び利益相反・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

17. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

18. 研究業務の委託・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

19. 研究の実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

20. 参考資料・文献リスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

１　研究の目的

*※２～３行を目安として、簡潔かつ明確に記載して下さい。*

【例】

HER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者における治療法と予後の関係を検討する。

【例】

○○疾患における○○療法の有効性、安全性を検討する。

【例】

○○遺伝子変異陽性例で、○○により治療を受けた○○疾患患者の予後に影響を与える因子

を探索する。

２　研究の背景及び意義

*＊ここに研究の背景・意義を記載して下さい。学会抄録のサマリー程度の内容を目安として記載して下さい。*

*※ 全ての引用文献は、「23.文献」の項に記載して下さい。*

 *分かっていること？*

*分かっていないこと？*

３　研究対象者及び適格性の基準

１）セッティング

研究対象者の選定、データ取得を行う施設・場所、どのような機会か

２）適格基準

選択基準(以下のすべてを満たす)

設定根拠を示す。

除外基準（以下のいずれかを満たす）

設定根拠を示す。

３）サンプルサイズ（対象者の人数）およびその算定根拠

【例　統計学的な根拠なし】

100例を予定している。研究期間内の当院における症例の数から目標症例数を決定した。

【例　統計学的な根拠あり】

ある調査では、その地域における産後うつの有病割合が19.8%であることが示された。こ

れを参考に正常出生体重児の母親におけるうつの割合を20%として、また、栄養不良の子供

を持つ母親のうつのオッズ比を3 倍、検出力80%、有意差を5%として、72 組のケース・コ

ントロールのセット（ケース1 例に対してコントロール1 人）を必要とした。

４　研究の方法

4.1.研究の種類・デザイン

後向き観察研究

4.2.研究・調査項目

主要な要因の定義、測定方法

主要、副次アウトカムの定義、測定方法

その他、研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得する。

　 【例】

① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（○○、○○…）、臨床病期…）

　 ② 血液所見（CBC、白血球分画、肝腎機能…）

　 ③ 病理学的所見（免疫組織学的所見・○○の発現…）

　 ④ 治療（術始期・投与薬剤…）

　⑤ 治療反応性・予後

*＊ データとして利用する患者情報（年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果、画像診断*

*結果、・・・、その他収集するデータ）を列挙して下さい。*

５　統計的事項

統計解析の方法

要約統計量を用いて記述統計を行う。

【例1】

生存曲線の推定にはKaplan-Meier法を用いる。生存時間の信頼区間の計算にはGreenwoodの公式を適用する。2群間の生存曲線の比較には主としてLog-rank検定を用いる。共変量の調整のためにCoxの比例ハザードモデルによる評価も行う。

【例2】

２群間の割合の比較にはPearsonのカイ２乗検定を用いる。共変量の調整のためにLogistic回帰分析を行う。

【例3】

２群間の平均値の比較にはt検定を用いる。共変量の調整のために共分散分析を行う。

統計パッケージには○○を使用する。有意水準には両側検定でp<0.05を採用する。

６　スケジュールあるいは研究期間

*＊データ収集し、解析等まで含めた期間*

【例】

臨床研究審査委員会承認日～西暦20XX年XX月XX日

（調査対象期間：西暦XXXX年XX月～XXXX年XX月）

７　遵守すべき倫理指針

厚生労働省、文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従う。

８　研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

8.1. 負担並びに予測されるリスク

本研究に参加することによる研究対象者に生じる負担並びにリスクはない。

8.2. 予測される利益

本研究に参加することによる研究対象者個人への直接的な利益は生じない。研究の成果は、

将来の●●疾患の治療法の進歩に有益となる可能性がある。

９　研究の変更、中止・中断、終了

9.1. 研究の変更

研究実施計画書の変更または改訂を行う場合は、あらかじめ倫理委員会の承認を必要とする。

9.2. 研究の中止、中断

研究責任者は、倫理委員会により中止の勧告あるいは指示があった場合は、研究を中止する。また、研究の中止または中断を決定した時は、速やかに院長にその理由とともに文書で報告する。

9.3. 研究の終了

研究の終了時には、研究責任者は速やかに研究終了報告書を院長に提出する。

10　研究対象者からインフォームド・コンセントを受ける手続き

*※文書同意でも構いませんが、多くの場合オプトアウト（文書又は口頭同意を得ず、情報を通知・公開し、研究対象者等が拒否できる機会を保障する方法）で対応すると思われるので、オプトアウトの例を示します。*

本研究は、新たに試料・情報を取得することはなく、既存情報のみを用いて実施する研究であるため、研究対象者から文書または口頭による同意は得ない。研究についての情報を研究対象者に公開（病院内に掲示又は病院ホームページへの掲載）し、研究が実施されることについて、研究対象者が拒否できる機会を保障する。

なお、公開する情報は、以下の内容を含むものとする。

１）研究の概要

２）病院名及び研究責任者の氏名

３）研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨（他の研究対象者の個人情報

及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られる旨を含む。）並びにその入手・閲覧の方

法

４）個人情報の開示について研究対象者及びその関係者からの相談等への対応に関する情報

５）試料・情報の利用を拒否できる旨

11　個人情報等の取扱い

*※ 研究対象者の個人情報等とは、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるものをいい、他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む（カルテIDも個人情報です）。*

*※ 連結可能匿名化においては、個人と研究対象者番号の連結表をだれがどこに保管するのか記載して下さい。*

【例】

研究に携わる者は、個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守する。調査により得られた情報を取扱う際は、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないよう、研究対象者に符号もしくは番号を付与する。対応表は研究責任者が電子カルテネットワーク上に保管し、ネットワーク外に個人を識別することができる情報の持ち出しは行わない。解析に際しては、匿名加工情報のみを個人のコンピューターを用いて解析する。拒否があった場合には、研究責任者が匿名加工情報からの削除を行なう。

本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含まないこととする。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しない。

12　情報の保管及び廃棄の方法

*※ 情報（研究に用いられる情報に係る資料を含む。）の保管場所、保管期間、保管方法、廃棄について記載して下さい。*

*※ 研究代表者、研究責任者、研究協力者及びデータセンターが保存すべき記録の種類と保管期間を記載して下さい。*

【例　情報の管理】

研究責任者は、研究等の実施に関わる文書（申請書類の控え、通知文書、研究対象者識別コードリスト、同意書、症例報告書、その他データの信頼性を保証するのに必要な書類または記録など）を医局の鍵のかかるロッカーに保管する。

保管期間は、研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とする。

保管期間終了後に紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄する。その他媒体に関しては適切な方法で破棄する。

13　院長への報告内容及び方法

以下の場合に文書にて院長に報告する。

１）研究の倫理的妥当性若しくは科学的合理性を損なう事実若しくは情報又は損なうおそれの

ある情報であって研究の継続に影響を与えると考えられるものを得た場合

２）研究の実施の適正性若しくは研究結果の信頼を損なう事実若しくは情報又は損なうおそれ

のある情報を得た場合

３）研究を終了（中止）した場合

４）研究の進捗状況（年に1回）

14　研究対象者の費用負担、謝礼

研究に参加することによる研究対象者の費用負担は発生しない。また、謝礼も発生しない。

15　研究結果の公表

国際・国内学会および論文発表を行う。公表時には、個人を識別する情報は一切使用しないよ

うに十分に配慮する。

16　研究資金及び利益相反

本研究は、研究責任者が所属する診療科の研究資金で実施する。また、本研究の研究者は、「県立尼崎総合医療センター利益相反管理規定」に従って、臨床研究利益相反委員会に必要事項を申告し、その審査と承認を得るものとする。

*＊資金提供を受ける場合には、資金源を記載して下さい。*

17　研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

研究対象者やその関係者からの相談窓口は、研究責任者とし、連絡先を公開文書に記載する。

18　研究業務の委託

*＊ 研究に関する業務の一部を委託する場合には、当該業務内容及び委託先の監督方法（例えば、委託契約書において委託者が定める予定の安全管理措置の内容を示すとともに当該内容が遵守されている方法（定期的な実地調査等）、当該内容が遵守されていない場合の対応等）を記載して下さい。*

【例】

研究に関する業務の委託はない。

19　研究の実施体制

各研究者の役割分担（研究の総括、企画立案、運営、解析、論文執筆など）を記載する

兵庫県立尼崎総合医療センター◇◇科

研究責任者*（職名）*□□*（氏名）*△△　△△　△△

20　参考資料・文献リスト

*＊参考文献があれば記載して下さい。*